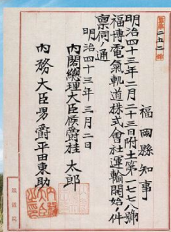
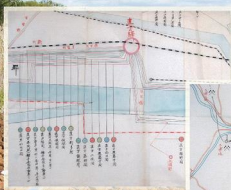


福岡共同公文書館 開館5周年記念特別展

公文書でめぐる鉄道の旅

～近代の福岡～

石炭産業や都市の形成で広がりを見せた福岡県内の鉄道網について
明治から昭和初期の公文書や写真パネルとともに振り返ります



平成29年

平成30年

11月18日(土)～1月28日(日) 午前9時～午後5時

観覧無料

休館日 月曜日、祝日、12月28日(木)～1月4日(木)、1月9日(火)

》オープニングイベント《

11月18日(土)午後1時から

書道パフォーマンスと子ども太鼓グループの共演

出演者 (書道)西尾 真紀氏 (太鼓)つくし太鼓 場所 福岡共同公文書館 1階エントランス前

11月18日(土)午後2時から

記念講演会・シンポジウム「アーカイブズが築く未来～共同公文書館のチャレンジ～」

定員 120名(事前申込み・先着順) 場所 福岡共同公文書館 2階研修室

基調講演 大瀧 徹也氏(筑波大学名誉教授) コーディネーター 折田 悦郎氏(九州大学 大学文書館教授)

パネリスト 大瀧 徹也氏・小池 聖一氏(広島大学文書館館長)・平井 義人氏(日出町歴史資料館館長)



福岡共同公文書館

福岡県筑前市上戸1丁目3番1号

お問い合わせ

092-919-6166

交通アクセス ●JR(二日市駅)下車、徒歩約13分 または、西鉄バス(豊前新宮)バス停より徒歩約1分
●西鉄(二日市駅)下車、西鉄バス(豊前新宮)バス停より徒歩約1分
●九州自動車道「筑前インター」より車で約5分

福岡共同公文書館には多くの収蔵品が活用されています。



▲和綴じ本を作る受講生



▲文書班のもとで研修を受けるインターンシップ生

▲企画展広報チラシ

TOPICS

福岡共同公文書館 開館5周年記念特別展

「公文書でめぐる鉄道の旅～近代の福岡～」…………… 2～3ページ

● インターンシップ特集…………… 4ページ

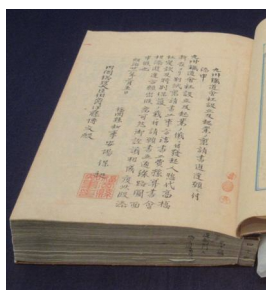
● 公開講座／和綴じ・くずし字…………… 6ページ

● 活動報告／選別会議実施状況…………… 7ページ

福岡共同公文書館開館5周年記念特別展

『公文書でめぐる鉄道の旅』 ～近代の福岡～

平成29年11月18日(土)～平成30年1月28日(日)まで、福岡共同公文書館開館5周年記念特別展「公文書でめぐる鉄道の旅～近代の福岡～」を開催しました。平成24年11月18日より開催した、開館記念展示から数えると、通算11回目の企画展となります。当館が所蔵している福岡県公文書「軌道許可」を中心に、石炭産業や都市形成とともに広がりを見せた近代の福岡県内の鉄道網についてご紹介しました。また、九州初の鉄道である九州鉄道や、筑豊地域の運炭を担った筑豊興業鉄道の免許認可の記録、鉄道国有法公布時の署名原本(レプリカ)などの貴重な資料を国立公文書館から借用して展示しました。



1 福岡県鉄道事始め

新橋～横浜間を初めての鉄道が走ったのは、明治5年(1872)のことです。一方、九州では、民間資本をもとにした九州鉄道会社が設立され、明治22年(1889)12月、博多と千歳川仮停車場(現在の鳥栖市)間を結んで、初めての鉄道が走りしました。その後延伸工事を進め、明治29年(1896)には門司～八代間が開通しました。こうした新線建設のほか、他会社との合併により路線網を拡大し、北部九州一帯に路線を張り巡らせた九州鉄道でしたが、明治39年(1906)に公布された「鉄道国有法」により国有化されました。九州鉄道が再び民営化されるのは、昭和62年(1987)のことです。

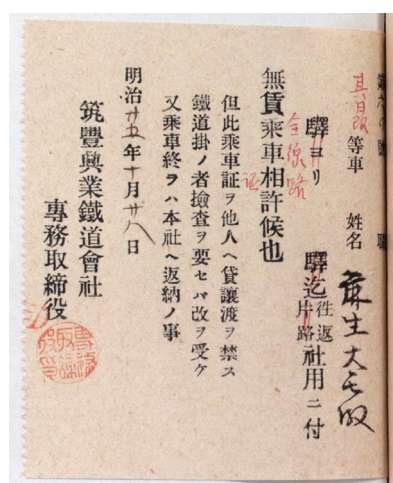
2 炭都と鉄道

筑豊地域では、鞍手、嘉麻、穂波、田川、遠賀の五郡共同で運炭のための鉄道会社の設立を計画し、明治22年(1889)7月に、福岡県で2番目の鉄道会社となる筑豊興業鉄道が発足しました。明治24年(1891)、若松～直方間が開業し、その後臼井まで路線を伸ばしますが、明治30年(1897)九州鉄道と合併しました。

続いて設立された豊州鉄道も、運炭を担った鉄道でした。行橋町から大分県宇佐郡までの旅客鉄道を本線としながら、田川地域の石炭輸送を目的とし

た支線である、行橋～伊田間の方が先に開業しました。豊州鉄道も、明治34年(1901)に九州鉄道と合併しました。

近代の福岡県内の鉄軌道網は、石炭産業の発展とともに形成された、といっても過言ではありません。現在からは想像もできないほど、過密な鉄道網が、産炭地を中心に張り巡らされていたのです。



(左) 昭和5～6年ごろの直方駅構内。筑豊炭田からの石炭車は、直方駅で行先別に編成し直されたため、多くの仕分け線が設けられていた。

(右) 飯塚町長に送られた筑豊興業鉄道試乗会の乗車券。直方～小竹間開業を記念して、明治25年10月28日に開催された。



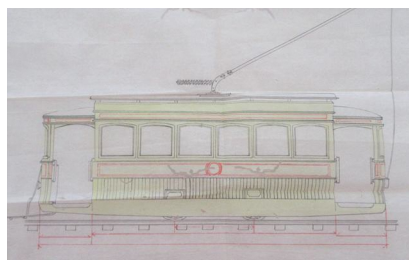
3 「軌道許認可」にみる戦前の 県内鉄道事情

現在福岡県内に路線のある鉄道会社は、JRグループの他、西鉄、筑豊電気鉄道、福岡市交通局、北九州高速鉄道、甘木鉄道、平成筑豊鉄道です。しかし、戦前の福岡県には、旅客を主目的とした鉄道、貨物運搬を目的とした鉄道、会社が専用に引いた鉄道など、さまざまな鉄道(軌道)会社が存在していました。鉄道敷設の免許申請は、県を経由して政府に提出されたため、県には鉄軌道の許認可に関する、「軌道許認可」「地方鉄道許認可」という公文書が残されています。現在は多くの当館に移管されています。戦前の「軌道許認可」には、明治末から昭和戦前期の福岡県において、免許申請を行った鉄軌道会社を列記した台帳のほか、路線の延伸や変更の経緯のわかる申請書や図面、会社の経営状況を示す営業報告書、運行状況を示すダイヤグラム、計画されたものの実現に至らなかった未成線や、短期間で廃止になった路線についても諸資料が残されており、当時の県内における鉄軌道の状況が詳細に見渡せる好資料といえます。

▼路面電車の開業 福岡電気軌道事蹟

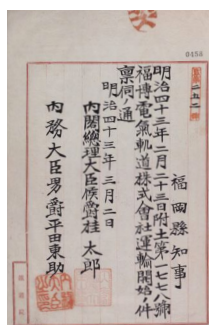
明治43年(1910)3月11日から始まる、第13回九州八県連合共進会に間に合わせるため、急ピッチで進められた、福岡電気軌道による福岡市内路面電車

の建設は、路線計画の変更や、部品調達の遅延といったさまざまな困難を乗り越え、共進会の開催直前、3月9日ようやく開業にこぎつけました。「軌道許認可」(福岡電気軌道事蹟)には、この福岡電気軌道建設に関する文書や図面が残されています。



(上)敷設申請書に添付された、福岡電気軌道の側面図(明治42年)

(左)福岡電気軌道運輸開始を認可する文書(明治43年)



▼西鉄天神大牟田線のルーツ 九州鉄道路線図

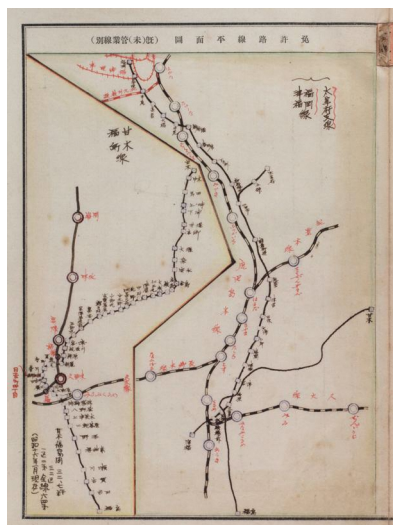
九州鉄道(国有化した九州鉄道とは別会社)は後に西日本鉄道株式会社となる鉄道会社の一つで、略称「九鉄」。大正13年(1924)に福岡く久留米間を開通させ、昭和9年(1934)には二日市く太宰府間を結んでいた太宰府軌道を合併し(太宰府支線)、昭和14年(1939)7月1日、福岡く大牟田間が全線開通しました。現在の西鉄天神大牟田線です。

昭和11年(1936)の路線図(写真)を見ると、後の大牟田線は天神駅から津福駅(久留米市)まで開通しています。また甘木から久留米市内を通って福島

町(八女市)に至る、甘木福島線という路線が記載されています。甘木福島線は、後に甘木線と福島線に分断され、福島線は国道3号線の拡幅工事に伴い廃止されました。

鉄道に関する展示といえば、写真や模型、部品、切符など、鉄道に関連するモノ資料の展示が多いように思いますが、今回は公文書と付属図面などの紙資料から、戦前の福岡の鉄道を振り返るという点で、当館ならではの鉄道展になったのではないかと思います。

今回の展示にあたり、国立公文書館、福岡県立図書館、直方市石炭記念館には、資料の借用や画像の提供などのご協力を賜りました。この場を借りて、御礼申し上げます。また会期中、840名の皆様にご観覧いただきました。ありがとうございました。



九州鉄道路線図(画面右側が天神津福線と太宰府支線、左側が甘木福島線)(昭和11年)

インターンシップ特集

INTERNSHIP

● 2月15日～21日

私は、大学生になってから公務員になりたいと思い、研修先に福岡県庁を選び、福岡共同公文書館に決まりました。私は公文書館がどんな所でどんなことを行っているのかほとんど知らず、インターネットで調べて初めてどんな所なのかを知りくらしい浅い知識しかなかったのですが、公文書館についてさまざまなことを学ぶことができました。

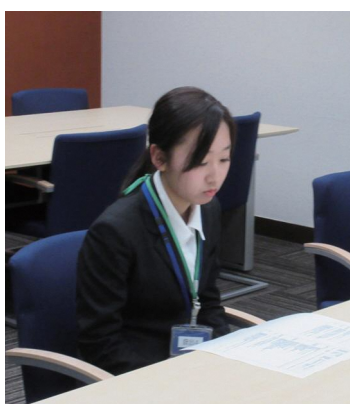
一日目と二日目は、文書班の仕事体験をさせていただき、沢山の公文書に触れることができました。昭和初期のものから、数年前の新しいものまでありました。また、補修などをするだけではなく、利用の際にパソコン検索できるように、文書の内容を細かく分類し、登録されていました。このように、それぞれ一冊一冊には沢山の時間と時間がかかっていることがわかりました。

三日目から五日目は、総務企画班の仕事体験をしました。利用申請があつた公文書内の、個人情報

に該当するものを見つけその箇所を公開するかの判断を行いました。とても古い文書のため漢字が読みにくく、内容も理解しづらく感じました。実際に、有識者の方々による利用審査会に参加してみて、公文書の取り扱いの重要性を学びました。

私は、五日間公文書館でインターンシップ研修をして、公務員の仕事にもさまざまなことがあること、福岡共同公文書館が福岡にはなくてはならない施設であること、ひとつの施設のために多くの人の努力と工夫がされていることを学び、自分も改めて誰かのために役に立つ仕事に携わりたと思うことができました。

(福岡女学院大学 森 美琴)



● 8月17日～23日

私は夏休みのインターンシップ先として福岡共同公文書館に応募しました。なぜなら、大学で現代社会について学んでおり、現在の視点から社会を考えることはあるのですが、過去の視点からも社会を見てみたいと思ったからです。

五日間という短い期間でしたが、職員の皆さんが優しく声をかけてくださったり、指示を出してくださったりと大変お世話になりました。

一日目と二日目は総務企画班のお仕事を体験しました。まず、公文書館の概要についての説明を受けて施設の見学を行いました。その後、利用申請があつた公文書を閲覧のためにスキャニングしました。また、他館の企画展の状況調査を行い、実際に、企画展示内容の提案書を作成しました。初めてのことで、緊張しましたが、より良くなるようなアドバイスを頂き、とても勉強になりました。

三日目と四日目は文書班のお

仕事を体験しました。公文書を保管するまでには内容を選別し、選別会議の中で、皆さんが意見を出し合いながら「特定歴史公文書」を決定されていることがわかりました。また、戦後すぐの公文書より、明治時代の公文書の状態の方が良く、戦後の物資不足等が背景にあることを知りました。他の会議にも参加し、とても貴重な経験をさせていただきました。

私は「仕事」に漠然としたイメージしかありませんでしたが、今回、社会人の皆さんが働く様子を間近で見ることができて少しイメージが掴めた気がします。この経験を次に生かしていけるようにがんばりたいと思います。

(筑紫女学院大学 須藤 真菜)



インターンシップ特集

INTERNSHIP

平成30年度「福岡県教育庁等
高校生インターンシップ」を
受け入れました。

● 7月25日～27日

行った事のない場所だったのでとても緊張しました。重たい防火扉の「文書保存庫」では、温度・湿度の調節や、窓からの光も遮って公文書を保存されていて、すごく大切に扱われているので、「文書って大切なな。」と感じました。講演会前の資料や駐車場の準備を3人で協力しながら取り組むことができて、他の学校のインターンシップ生とも仲良くなることできて良かったです。

(戸畑高等学校 大西さん)

「公文書」が何か、公文書館が何をするところなのか、今まで知りませんでした。3日間を通して、公文書が昔のまま残されていることを知りました。字はくずし字で読めませんでした。公文書を大切に保存するために金属を取り外したり、消毒したりされていて、利用

者が検索しやすいように資料番号をつけて整理されていました。講演会準備は地道な作業でしたが達成感がありました。

(須恵高等学校 松崎さん)

公文書についての知識が全くなかったので、何もかもが新鮮で刺激的でした。スキャンニングの作業をしました。公文書は脆くて取り扱いに苦労しました。様々な仕事を体験しましたがどの仕事も共通して利用者のことを想うことが大切だとわかりました。この経験を大学や就職先選別に活かしたいと思います。

(福岡中央高等学校 三浦さん)



▲講演会のため、駐車場にラインを引く高校生たち

● 7月31日～8月2日

最初は図書館みたいに本の整理をすると思っていましたが、それ以上に大変な仕事を3日間体験しました。企画展が市町村広報紙に載っているかを調べる作業は大変でした。他には保存庫の整理や講演会の後片付けをしました。西南戦争についても詳しくなりました。

(三池高等学校 嶋田さん)

福岡共同公文書館は、福岡県と市町村が共同で運営していることを知りました。利用申請のあった資料の中に個人情報がないかを調査する作業では、個人情報を見逃すことがないように気をつけました。また、普段は入室できない文書保存庫に入つての作業は貴重な体験になりました。私の将来就きたい職業でも今回学んだことは通じることだと思うので、この経験を大切にしていきたいです。

(福島高等学校 國武さん)

▲利用申請のあった資料をスキャンニングする高校生たち



施設見学ではその設備に驚きました。100名を超える講演会参加者のアンケート集計をやり遂げたときは達成感を味わえました。講演会場の後片付けなどは、お客様のことを考えての作業でとても神経を使いました。今回の経験は将来、自分が社会に出たときに活かしていきたいです。

(三池高等学校 末松さん)

公開講座を開催しました

和綴び

平成29年12月3日(日)【参加者 19名】と平成30年9月8日(土)【参加者 32名】に、元福岡女子短期大学准教授の倉本優子さんを講師にお招きして「和綴び講座」を開催しました。

伝統的な和本の綴じ方の種類や歴史について、先生からの講義を受けた後、和綴び本作りのワークショップを実施しました。タタキと目打ちで穴を開け、針と糸で四つ目綴びをしていくなど、細かい作業が続きましたが、助手の方々にも教えてもらいながら、自分だけの和綴び本が完成しました。

参加者の方からは、「自己流でメモ帳を作成していましたが、きちんと和綴びを学べてよかったです」「表紙を選ぶのが楽しくてわくわくしました」「帰宅後、5冊作って母や妹たちにプレゼントして喜ばれました」等の意見やお便りが寄せられました。

次回は平成31年3月頃(定員30名／抽選による)に開催予定です。



▲指導を受けながら和綴び本を作成する受講生



▲完成した和綴び本を手にする受講生たち

はじめてのくずし字

平成30年1月20日(土)【参加者 42名】に、当館の相談員である荻野寛美さんを講師として、「はじめてのくずし字講座」を開催しました。

本講座では、くずし字学習に向けての心がまえやテキスト選びのポイント、解読体験(演習問題)といった「基礎・基本」を学ぶことができます。

参加者の方からは、「くずし字の仕組みが理解できたことは大きい」「練習問題によって身についた」「とてもわかりやすい説明でよく理解できました」等の感想が寄せられました。

次回は平成31年1月頃(定員30名／抽選による)に開催予定です。



▲講師の話に聴き入る受講生



▲館内見学会に参加している受講生

活 動 報 告

平成30年

1月16日	静岡県議会議員 視察【1名】
1月18日	市町村文書事務担当課長会議 講演(国立公文書館 統括公文書専門官 依田 健氏)
1月20日	公開講座「はじめてのくずし字」【参加者 42名】 (講師 福岡共同公文書館 相談員 荻野 寛美氏)
1月22日	NHK福岡放送局「ロクいち!福岡」放送
1月23日	NHK福岡放送局「おはよう九州沖縄」放送
2月 7日	平成29年度 第2回 運営専門協議会(県・組合合同開催)
2月15日	大学生インターンシップ研修生受入(～21日)
2月21日	東京外国語大学 大学文学館研究員視察研修【7名】
3月 8日	広島県立公文書館職員 視察【1名】
3月16日	NHK全国ニュース「おはよう日本」放送
3月18日	二日市コミュニティ運営協議会地域活動部会 施設見学【6名】
4月12日	福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 88名】
4月19日	福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 92名】
4月26日	福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 89名】
5月 6日	鹿児島県議会議員 視察【1名】
5月10日	福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 98名】
5月17日	福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 88名】
5月23日	平成30年度 運営会議
5月24日	福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 81名】
5月30日	市町村文書事務担当者説明会
6月 6日	石狩市総務部情報政策課 視察【4名】
6月28日	平成30年度 第1回 運営専門協議会
6月30日	自治労ふくおか南筑後総支部 視察研修【14名】
7月10日	西南学院大学法学部 施設見学【24名】
7月13日	福岡共同公文書館出張展示(企画展「西南戦争」及び公文書館の紹介) 期間(～31日) 場所(福岡県庁ロビー)
7月18日	明治150年企画展示 西南戦争一かけめぐる情報一(～9/22)
7月19日	小竹町教育委員会 まなび体験講座受講生 企画展・施設見学【12名】
7月21日	ケーブルステーション福岡「2755(つなGO!!GO!!!)」放送
7月25日	福岡県教育庁等高校生インターンシップ研修生受入(～27日)
7月28日	講演会「報じられた西南戦争―新聞・実録・錦絵―」開催【参加者 118名】 (講師 北九州市立大学文学部比較文化学科 准教授 生住 昌大氏)
7月31日	福岡県教育庁等高校生インターンシップ研修生受入(～8/2)
8月 4日	TVQ「飛び出せ!サークル“ふくおか研”」
8月17日	大学生インターンシップ研修生受入(～23日)
8月27日	大学院アーカイブズ実習生受入(～9/7)
8月31日	福岡地方行政連絡会議(公文書館の取組みについて発表)
9月 8日	公開講座「和綴じ講座」開催【参加者 30名(定員)】 (講師 前福岡女子短期大学文化コミュニケーション学科 准教授 倉本 優子氏)



▲市町村文書事務担当課長会議
国立公文書館統括公文書専門官の依田健氏に「公文書の管理と公文書館の役割(保存の重要性)」についてご講演いただきました。



▲福岡県市町村新規採用職員研修
福岡県内市町村の新規採用職員(総数536名)が、「公文書」についての基礎知識と市町村からの移管についての説明を受けた後、施設見学で公文書館における保存方法や利用等について学びました。



▲平成30年度 第1回運営専門協議会
運営専門協議会は、公文書館の運営上の課題(選別基準や利用審査、文書移管の促進、企画展への助言等)について専門的立場からの助言を得るために設置されています。

選別会議実施状況

選別会議・・・自治体の一次選別を経て搬入された公文書について、評価選別基準により二次選別を行います。選別会議の結果、特定歴史公文書に該当すると判断された公文書については、自治体から公文書館へと移管されます。

柳川市	鞍手町	大野城市	直方市	みやま市	大牟田市	小郡市	那珂川町	築上町	小竹町
飯塚市	香春町	大木町	大刀洗町	豊前市	志免町	筑後市	大川市	広川町	

▲平成30年1月から平成30年8月までの分

会議室・研修室を利用できます。

福岡共同公文書館では、会議室・研修室を有料で貸し出しています(要事前申込み)。施設の使用料金は下記をご参照ください。

- 会議室は、少人数の会議やサークル活動などにご利用いただけます
- 研修室は、音響・映像システムを備え90名まで収容できるため、講演会や講習などにご利用いただけます(駐車場あります)
- 目的によっては、ご利用いただけない場合があります



▲福岡共同公文書館
キャラクター「しょこら」

施設使用料金

	収容人数	面積	金額(1時間につき)
会議室	16名	58㎡	390円
研修室	90名	171㎡	1,150円

複写サービス

白黒	1枚 10円
カラー	1枚 30円
マイクロフィルムからの印刷	1枚 10円

公文書館を見学しませんか?

公文書館があるのは知っているけど、どのような所か分からない、という声を聞きます。そこで、当館では館内見学会を実施しています。

また、学校の社会科見学や総合学習、コミュニティ活動の一環としても施設見学(要事前申込み)を受け入れていますので、お気軽にお問い合わせください。



▲バックヤードツアーで補修室や保存庫の説明を受ける参加者



公式Facebook, Twitterはじめました。

ブログもやっているよ!
ホームページを見てね



福岡共同公文書館



交通アクセス

- JR二日市駅より徒歩約13分または西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分
- 西鉄二日市駅より下車、西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分
- 九州自動車道「筑紫野インター」より車で約5分

福岡共同公文書館

〒818-0041

福岡県筑紫野市上古賀1丁目3番1号

お問い合わせ:092-919-6166

Mail:kobunsyokan@pref.fukuoka.lg.jp

ホームページ:http://kobunsyokan.pref.fukuoka.lg.jp/



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。